

第2期呉市子ども・子育て支援事業計画（案）について

1 第2期呉市子ども・子育て支援事業計画（案）に対する意見

(1) 市民意見公募によるもの

募集期間：令和元年12月17日（火）から令和2年1月16日（木）まで

提出者数：20歳代から40歳代の子育て中の親 12名

提出された意見の要旨	市の考え方と計画への反映
第5章 実施計画	
基本目標1 地域で子どもと子育て家庭を支える支援	
重点施策（1）地域における子育て支援の充実	
<p>① くれくれ・ばのような地域子育て支援拠点を他の地域にもつくってほしい。</p>	<p>地域子育て支援拠点のうち、くれくれ・ばなど、ひろば型と呼ばれる専用施設は中央地区と広地区の2か所に、保育所等で行っているセンター型は市内8か所に設置されています（75, 76ページ）。 子育て中の親同士の交流の場として、気兼ねなく誰でも利用できるよう、各地区の地域子育て支援拠点の一層の充実に努めていきます（91ページ）。</p>
重点施策（2）教育・保育の受け入れ体制の充実	
<p>② 現在、市内には、保育所待機児童はいないとのことであるが、現状は希望の保育施設等に子どもを預けられない状況がある。 特に中央・広地区は就労中や就労希望の親が増加傾向にも関わらず、利便性の高い場所に施設が少ない。途中入園や一時保育等の枠が限られていることに加え、各保育施設等に問い合わせしなければならないだけでなく、探すだけでもかなり労力がかかる。働き続ける女性が多くなり、働き方が多様化している状況に整備が追いついていないと感じる。保育施設の誘致や保育サービスの充実を推進すべきと思う。</p>	<p>教育・保育事業については、既存の施設の定員拡大や地域型保育事業の活用等により、提供体制の確保を図るとともに、保護者の多様な就労形態に対応し、延長保育、休日保育などの多様な保育サービスの充実を図っていきます（93ページ）。</p>

提出された意見の要旨	市の考え方と計画への反映
重点施策（3）子育て支援のネットワークづくり	
<p>③ 子育てサークルは、子どもの年齢にかかわらず様々な人たちと接することができるため、親子の成長によい影響を与えている居場所であると考えている。</p> <p>ただし、サークルの広報は自助努力に委ねられており、非常に難しいと感じているため、「くれ子育てねっと」や子育て支援アプリ「くれっこアプリ」を利用したサークル情報の周知の支援をしてほしい。</p>	<p>子育てサークルに対する支援の内容としては、「くれ子育てねっと」への情報の掲載、大型絵本や備品類の貸出しを行っています。</p> <p>今後、身近な交流場所として子育てサークルへの参加を増やすことが大切であると考え、呉市子育てアプリ「くれっこアプリ」の活用も含めた情報発信について文言を追加します。</p> <p>【修正箇所】</p> <p>95ページの施策の方向性の1番目の項目に下線部分を追記しました。</p> <p>◇呉市すこやか子育て協会や子育て当事者と連携しながら、効果的な情報発信を行い、子育て支援団体の育成や子育て支援ネットワークの充実を図ります。</p>
重点施策（4）子どもがのびのびと育つ居場所づくりの推進	
<p>④ ニーズ調査で、「子どもが体を動かして遊ばせることができる場所をもっと作ってほしい」、「子どもを遊ばせることができる屋内施設を充実してほしい」などの意見が多く見受けられたように、小さい頃から外で思い切り遊ぶことができていない子どもが多くなっていると思うので、公園や広場に隣接している場所に「子ども図書館」や「（誰でも行ける）お家」のような居場所があり、小学生になっても友達と遊んだりできればよいと思う。</p> <p>また、その場所で、親も保健師や他の親に子育ての悩みを相談したり、地域のイベントを実施したり、地域の方と交流したりできれば、子育てはもっと楽しくなると思う。</p>	<p>本計画では、子どもの居場所づくりに取り組む団体に対する支援を行い、子どもがのびのびと育つ居場所づくりの推進を図るとともに身近な地域で安全に遊び、学べる居場所づくりについても研究し、に、様々な試みが市全域で展開できるよう支援していくこととしています（96ページ）。</p>
<p>⑤ 放課後の居場所づくりについて、呉市内には児童館がいくつかあるが、「利用者数が減少しており、今後の運営方針について検討が必要です。」と記載があるが、地域で子どもを守り育てていくのであれば必要だと思う。放課後児童会を利用する高学年が減り、友達と公園でも遊ばず、家に一人でゲームをして過ごしていると考えられるためである。</p> <p>例えば空き家の活用も兼ねて、気軽に立ち寄れる児童館のような場所があるとよい。</p>	<p>地域で子どもたちを見守りながらその成長を支えるための居場所づくりの必要性は、ますます高まっていくと考えられます。</p> <p>本計画では、これまで児童館が果たしてきた機能の良い点を踏まえつつ、友だちや地域の大人などと交流しながら、地域で様々な体験活動ができるよう、地域の関係団体等と連携・協力して、地域イベントなどの各種体験活動を推進することとしています（96ページ）。</p>
<p>⑥ 子どもが、自然や地域の人と触れ合える機会があればよい。</p>	

提出された意見の要旨	市の考え方と計画への反映
重点施策（４）子どもがのびのびと育つ居場所づくりの推進	
<p>⑦ 0, 1, 2歳の子どもには「くれくれ・ば」や「ひろひろ・ば」があるが、幼稚園に入った途端、遊びに行く場所がなくなる。</p> <p>特に夏や冬の屋外遊びが難しい時期、長期休暇等で家にいる時間が長い時期は、子どもと出掛ける場所がなくて困る。</p> <p>豪雨災害で、子育て支援センターやポートピアパークなど遊び場がなかったとき、広市民センターの軽運動室を借りて、幼稚園児を対象に体を動かして遊ぶ会を開催した。昨年も同じような会を開催し、参加者からは「もっと開催してほしい」という声上がり、子どもの遊び場の必要性を感じる経験をした。</p> <p>天気に左右されることなく、気軽に行ける子どもたちが集まって遊べる屋内のスペースがあるととても助かる。</p>	<p>本計画では、子どもの居場所づくりに取り組む団体に対して支援を行うことなどにより、全ての子どもが放課後や休日、夏休み等の長期休暇中に、身近な地域で遊び、学べる居場所づくり、地域の人とともに様々な体験活動を行うことができる機会づくりを推進していきます（96ページ）。</p>
重点施策（５）子育て情報の発信力強化	
<p>⑧ 呉市すこやか子育て支援センター（くれくれ・ば、ひろひろ・ば）の事業内容を含めた周知が必要ではないか。</p>	<p>子育てサービスの周知については、呉市子育て支援アプリ「くれっこアプリ」を活用し、必要な人に必要な情報が確実に届くよう、情報提供体制を更に整備していきます。</p> <p>【修正箇所】</p> <p>98ページの施策の方向性の1番目の項目を次のように改めます。</p> <p>◇子育て情報がいつでも手に入る仕組みづくりの整備を行い、<u>各種子育てサービスの利用促進につなげていきます。</u></p>
<p>⑨ ニーズ調査で、子育てに関する情報の入手方法として、「ウェブサイト」と「ママ友など同じ子育て中の人」という二つの情報源が多かった。</p> <p>呉市には県外から転入し、知り合いがいないという子育て中の人が多いと思う。そのため、子育て中の人スマートフォンで閲覧できる情報を発信し、他の子育て中の人に情報が伝わる仕組みができれば、子育て中で外に出られない人、助けを外に向けて発せられない人にも貴重な情報源になるのではないか。</p>	<p>本計画では、子育て中の人が発信者となり、スマートフォンなどの情報端末を通じて、多くの子育て中の人々の情報源となる仕組みづくりに取り組むこととしています（98ページ）。</p>

提出された意見の要旨	市の考え方と計画への反映
基本目標3 子どもの健やかな成長に向けた教育・保育の充実	
重点施策(3) 家庭や地域の教育力向上	
<p>⑩ 子育ての専門家とともに、母親同士が集まり話し合う場を持つことで、子育てというものを学び、親子について一緒に考え自分で判断する力を育てる学習の場を作ってもらいたい。</p>	<p>核家族化が進み、地域の方とのつながりが希薄になっていく中で、子育ての知識やノウハウを学ぶ場所は少なくなっています。本計画では、子育てをする親が自信と責任を持って適切な子育てができるよう、情報提供や相談、学習機会や親子の触れ合いの機会の充実に努めることとしています(107ページ)。</p>
<p>⑪ 子どもの人数が減少し、子ども会も縮小・削減傾向にある。昔は参加する子どもの数が多かった夏のラジオ体操でさえ、私の住む地区では参加が義務ではなくなり、当番の問題もあり廃止の地域も出てきたため、子どものために協力しようという気持ちもなくなっている。</p> <p>たかが、ラジオ体操かもしれないが、地域と子どもたちと関わる場所である。自主的に私の家の駐車場で始めてみると、今までと変わらない人数の子どもたちが参加してくれたので、古き良きものは続けてほしい。また、地域の大人と子どもが触れ合う場所は積極的に残してほしい。</p>	<p>本計画では、地域の大人と子どもが共同で参加する交流活動や、地域の見守りの中で子どもが社会性や協調性を健全に育める環境づくりを推進し、地域の教育力の向上を図ることとしています(107ページ)。</p>
基本目標5 仕事と子育ての両立支援	
重点施策(4) 家庭生活・地域活動への男女共同参画の推進	
<p>⑫ ニーズ調査から、子どもが0歳から1歳の時に父親の育児参加時間が1時間以下という結果が47パーセントもあり、多いと感じたため、父親になる前の時期からの学習などの対策が必要ではないかと思う。</p>	<p>男性が父親になる前の時期から子育てについて学ぶことや、母親と一緒に子どもの成長を喜ぶことはとても大切であると考えます。 【修正箇所】 119ページの施策の方向性の1番目の項目に下線部分を追記しました。</p>
<p>⑬ 父親や祖父の育児学習や男女共同参画を前面に打ち出すよりも、まずは男性が子育てを楽しむことや子どもの成長を母親と一緒に喜べるような楽しいイベントをきっかけにするような意識改革・啓発活動があればよいと思う。</p>	<p>◇家庭において父親、母親がともに育児や家事の責任を分担し、協力し合えるよう、<u>親になる前からの学習機会や子どもの成長を家族と一緒に喜ぶことができる機会を増やすこと</u>で、<u>男女共同参画の推進についての意識啓発を引き続き図っていきます。</u></p>
基本目標6 支援・配慮を必要とする子どもとその家族への支援	
重点施策(1) 児童虐待防止の更なる強化	
<p>⑭ 自分は虐待をしていると親が思っていない場合もあるかと思っています。育てにくさや不安など親の知識不足から虐待に発展する可能性もあるので、「くれっこアプリ」などで親になった人に向けて読み物などの教材を提供していくなど考えてほしい。</p>	<p>本計画では、虐待で苦しむ子どもをゼロにするための児童虐待防止対策の更なる強化に努めることとしています(120ページ)。 御意見のように、スマートフォンを使いこなす今の子育て世代に対し、児童虐待事案の発生を未然に防止する観点から、広く啓発や教育ができないか、今後、個別の施策として検討していきます。</p>

(2) 呉市保健福祉審議会（児童福祉専門分科会）によるもの

市民公募による意見（パブリックコメント）を反映した最終計画案に対する、審議会からの意見はありませんでした。